

学内での活動

- 1 入試委員会
入試委員会で入試内容の検討と変更および入試ガイドの修正。
- 2 一年生担当業務
オープンハウスの企画・運営。ロフト調整。年次発表、修了制作展等のサポート。
- 3 「岐阜おおがきビエンナーレ2013」報告誌の編集 (pdf版)
瀬川准教授、八嶋 (RCIC)、およびデザインを委託したGokkoにより
テキストの作成および校正、ページングなどを進めた。
- 4 ATP (アートを/で考えるプロジェクト) プロジェクト
当プロジェクト内での、ゼミを中心とする活動、
また他プロジェクト (体験拡張) との共同での種々の社会的活動を行った。(以下)

学外での文化的活動 (公的)

- 1 ATP (アートを/で考えるプロジェクト) プロジェクトによる活動

① 展覧会『over the IAMAS』の開催

【概要】 前年度IAMAS卒業生から選出したアート作品の展示企画

【展示内容・期間】

#1 栗原 寿行 - Eye - 展

2014年04月15日 - 04月20日 12:00 - 19:00 (月曜休。最終日は18:00まで)

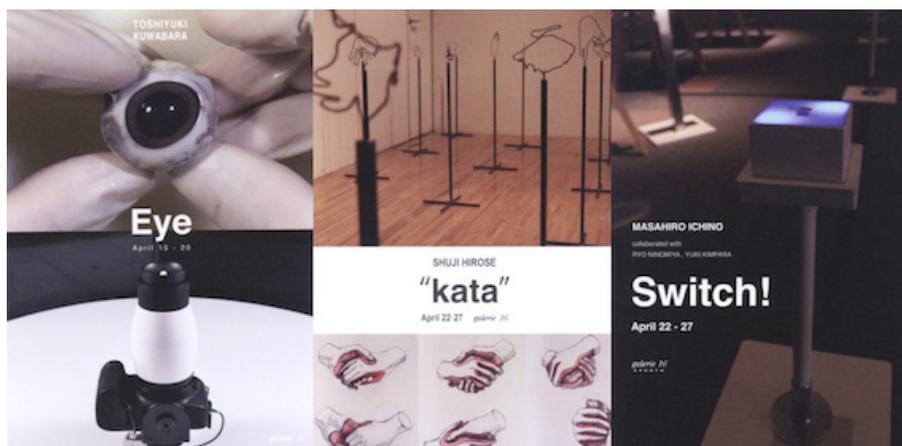
#2 廣瀬 周士 - kata - 展

2014年04月22日 - 04月27日 12:00 - 19:00 (月曜休。最終日は18:00まで)

#3 市野 昌宏 - Switch! - 展

2014年04月22日 - 04月27日 12:00 - 19:00 (月曜休。最終日は18:00まで)

【会場】 galerie 16 (京都)



② 平成24年度「大垣市アートフルタウン事業」への展示参加

【概要】

奥の細道むすびの地記念館への誘客促進や中心市街地のにぎわい創出を図ることを目的として開催される「アートフルタウン大垣2014」（大垣市主催）に参加し、大垣市民へのIAMASの周知や市民との交流場面を増やすと同時に、学生の作品・活動の発表の場として、それぞれの制作・研究に役立てることを目的とする。IAMAS学内プロジェクト共同運営による、中心市街地の展示空間「イアマスOS 3.0」を活用し、「アートを/で考えるプロジェクト」「あしたをプロトタイピングするプロジェクト」「美濃のいえプロジェクト」の3プロジェクトによる連続企画展示を行う。

【展示内容・期間】

企画1『microscopic』展

（アートを/で考えるプロジェクト）

会期：10月3日（金）、4（土）、5日（日）

概要：三宅 由里子（院2年生）の作品展示。
ラットの卵巣細胞の顕微鏡写真をもとに銅版画を作成。

企画2『-A- Switch』展

（アートを/で考えるプロジェクト）

会期：10月11日（土）、12日（日）、
18日（土）、19日（日）

概要：「スイッチ」をテーマにした、永田 美樹、project GaKyuH（院1年生）の作品展示



企画3『触楽』展

（あしたをプロトタイピングするプロジェクト）

会期：10月25日（土）、26日（日）

概要：見るだけではわからない、「触れて」「楽しむ」3点の作品を展示。多数のスイッチによる作品、動く壁の作品、走って発電する作品など。



企画4『大垣色見本帖』展

（美濃のいえプロジェクト）

会期：11月1日（土）、2日（日）、3日（祝）

概要：大垣の街の特徴的な色を抜き出して、色見本帖を展示。街の人が選ぶ「大垣らしい」色によって、新たな色見本帖を制作。



③ IAMAS卒業作品展における 和室展示企画「ごほうさくご syntax error」の実施

【概要】

センタービル内の和室を展示会場とした作品展示企画。特徴的な空間の特質を生かした作品内容と設置手法などを考える。作品はプロジェクト外からも募った。

【展示作品】

- 1 「nōmen」 瀬長孝久
 - 2 「black pattern」 ユキ・ヒライ
 - 3 「そのいし」 大久保雅基
 - 4 「graythm counter」 永田美樹
 - 5 「エンケラドス八方塞がり」 伊藤大作
 - 6 「Kaleido Face」 北堀あすみ
 - 7 「buddhabrot」 山本一彰
 - 8 「BALAN」 伊藤大作
- 各所「大黒将棋」
ユキ・ヒライ 玉田雄一 蛭澤法子



2 メディアサイト研究会による活動

① 大垣駅南北自由通路 光プロジェクト （「光プロジェクト活動報告書」別紙資料参照）

【概要】

大垣市（市街地整備課）からの依頼により、大垣駅南北自由通路の光の演出の依頼があり、IAMASの学生や卒業生からなる「IAMASメディアサイト研究会」を立ち上げ業務を受ける態勢をとった。今回のプロジェクトは、多くの利用者が通る大垣駅南北自由通路上に、2回に分けてメディア作品を設置し、人々が集う賑わいの創出を図ることを目的とした。最初の「トランス・フロア Trans-Floor」ATPプロジェクト、体験拡張プロジェクトの学生が中心となり実施。次の「リレーショナル・ポッド Relational Pods」は、研究生（市野）と卒業生（廣瀬）が中心となり制作・設置を行った。

トランス・フロア Trans-Floor

開催日時：2014年10月31日、11月1日、2日
（3日間の展示）午後6時～9時

場所：大垣駅南北自由通路

作品内容：「トランス」は、「～を通過」という意味や、「別の状態への変化」という意味がある。床上に2台のトラス構造物が設置され、その間を通る歩行者が床面に投影された映像の変化を楽しむ。



リレーショナル・ポッド ー光の水面 Relational Pods

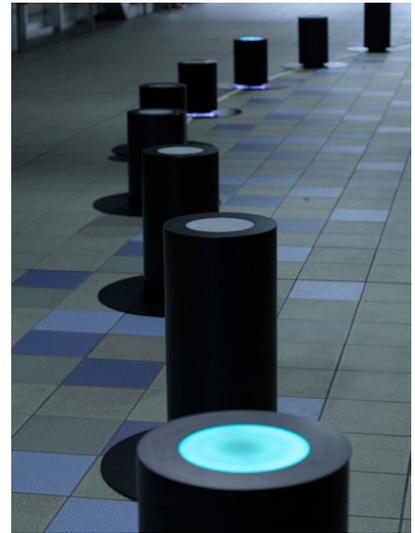
開催日時：2014年12月24日～2015年1月25日

(約1ヶ月間の展示) 午前7時～午後10時

場所：大垣駅南北自由通路

作品内容：水の流れをイメージして通路上に配置された19個のポッド（光の水面）が、歩行者のアクションによって様々な色に変化し、連動して明滅する。

水と関わる様々な行為を歩行者に連想させながら、光の波紋が広がる。普段見慣れた大垣駅南北自由通路が、楽しい通路に生まれ変わる。



- ② ソフトピアジャパン冬のファンタジーにおける
「トランスフロア」設置

【概要】

ソフトピアジャパン四季の回廊推進委員会からの依頼

日時 2014年11月28日（金） 18:00～20:00

場所 ソフトピアジャパンセンタービル 1階 ホエイエ（通路）

- ③ スイトピアxイアマス連携企画

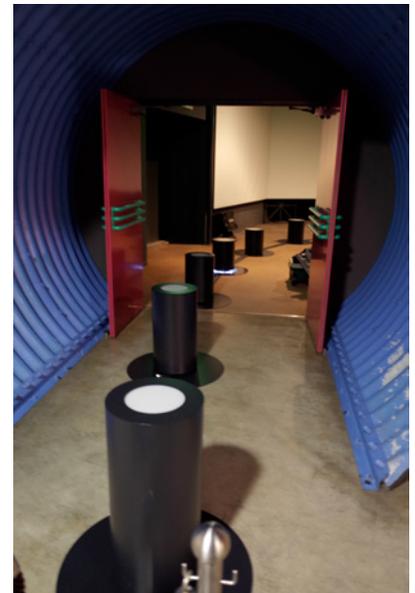
スイトピアセンター、水のパビリオンでの「リレーショナルポッド」設置

【概要】

大垣市スイトピア、IAMAS連携企画の試みとしての展示（予定）

日時 2015年3月28日（土）～5月6日（日）

場所 大垣市スイトピアセンター水のパビリオン（大垣市室本町5丁目51番地）



3 その他の公的活動

- ① 「県展改革準備委員会」への参加

岐阜県展の改革に向けての準備委員会。これまでにない新しい国際公募展を検討・計画。

主催：岐阜県、岐阜県教育文化財団

- ② 発心夢体・遊 - You - コンサート」12/20 ふれあい福寿会館 撮影協力（ATP 平井・伊藤）

岐阜県「未来会館」（一つの柱が、障がい者の文化芸術活動の拠点）の再開に向けたイベントの撮影協力。 主催：岐阜県、岐阜県教育文化財団